

2024年春季交渉について

パナソニック インダストリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員・CEO:坂本真治）は、人財戦略（人的資本経営）として、当社が何よりも重要と考える「人」を大事にした「人を中心に据えた経営」を実践しています。

当社は2024年春季交渉において、社員一人ひとりのモチベーションと挑戦意欲を喚起し、価値創出力と生産性を高め、持続的な企業価値の向上を実現すべく、人への投資として、労働組合に対し以下の内容の回答をしております。

賃金

・30歳開発・設計職基幹労働者の個別賃金水準について、13,000円の改善を図る。

（労働組合の要求に対して満額回答）

※定期昇給と合わせた賃上げ率は、直近の物価上昇率を超える水準

・また、会社創業以来取り組んでいる新たな働き方、人事制度改革など、人への投資は継続して取り組んでいくことを確認致しました。

賞与

・業績連動にて算出

初任給

・高校卒 190,000円、短大卒 206,000円、高専卒 222,000円、大学卒 250,000円、大学院卒 278,000円へ水準引き上げを行う。

ご参考：パナソニック インダストリー(株)の組合員数 約 9,400名

【パナソニック インダストリー株式会社について】

パナソニック インダストリー株式会社は、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い、デバイス領域を担当する事業会社として2022年4月1日に発足しました。グローバルで約42,000人の従業員を擁し、2023年3月31日終了の会計年度で1兆1,499億円の売上高を計上しています。「多様なデバイステクノロジーでより良い未来を切り拓き、豊かな社会に貢献しつづける」をミッションにかかげ、モノづくりにおける労働力不足、情報化社会の進展にともなうデータ爆発、モビリティ社会における環境・安全性要求の高まりなどを背景に、継続的な進化が求められる領域に注力し、コンデンサ、小型サーボモーター、EVリレー、電子材料など、固有の材料技術やプロセス技術で特長の際立つ顧客価値を提供し続けてまいります。パナソニック インダストリーの詳細については www.panasonic.com/jp/industry をご覧ください。